

関係者ヒアリング結果概要

1 日時

平成30年11月19日（月）13時00分～14時20分

2 対象者

在留資格「介護」ベトナム人（病院勤務） 1名

3 立会者

外国人受入れ企業（介護）職員

4 対応者

法務省

5 内容

(1) 対象者について

- 2年間日本語学校に通い、その後、2年間介護の専門学校に通い、今年の6月から働き始めたので、日本に来てから5年目になる。
- 今後少なくとも5年間は日本で働き続けたいと思っている。

(2) 就労・給与関係について

- 業務内容としては、入所者の着替え、入浴、排泄介助を行っている。
- 勤務時間は、日勤が8：40～16：50、夜勤が16：30～9：00となっており、日勤で働くことも夜勤で働くこともある。
- 仕事はシフト制のため、いつ休みが取れるかは流動的だが、週休2日制のため、毎月8～9日間は休みの日があり、長期休暇も年1回取得している。
- 仕事で分からないことがあった時は、ケアワーカーのリーダーや周りの職員に質問しており、分からない日本語については自分で調べるなどして解決している。
- 病院で実施される勉強会や病棟会で、介護の技術の向上のため勉強しており、日本語についても自分で業務外に勉強している。
- 仕事では、認知症等の人を相手にするため、同じことを何度も説明しなければいけないことや、主に高齢者を相手にするため、難しい日本語を使われるところが大変だと感じている。
- 半年働いてきて、仕事にも慣れてきたと感じているし、できることも増えてきたと思う。

(3) 日本での生活や日本語について

- 日本に来て困ったのは、マナーやルールに厳しい等の日本特有の文化や、漢字等の日本語の難しさであった。
- 介護福祉士試験や、運転免許の学科試験といった筆記試験では、漢字を含む日本語が使われており、問題を理解することが難しく、なかなか合格することができない。

(4) その他

- 休日には、友人と出かけたり、アイススケートをしたり、ガーデニングをするなど、いろいろな趣味を持っている。

- 家族はベトナムに住んでいるが，SNS等で普段からやり取りしている。
- 専門学校に通っている間に，学費の負担及び就職先の紹介を行っている企業と契約した。就職後に毎月の給料から天引きする形で返納しているものの，学費への不安をなくして勉強することができた。